

米国弁護士スティーブン・シャピロ氏による講演会

トランプ時代のアメリカでの 人権危機に対する弁護士たちの闘い

9・11を契機に米国社会ではテロ防止との名目でネット上での監視が強化されるなど、プライバシーの権利の危機が叫ばれてきました。

さらに、トランプ政権の誕生により、移民入国禁止大統領令、軍でのLGBT排斥など、差別容認の姿勢が米国社会の自由や人権の後退をもたらすとして大きな問題となっています。

他方、自由と人権を守ろうとする市民と弁護士が、このような傾向に対して激しく闘い、大統領令の司法による差し止め命令を勝ち取ったことをはじめとして、目覚ましい成果をあげています。

今回はアメリカ自由人権協会（ACLU）のステューブン・シャピロ弁護士にトランプ時代の米国での弁護士たちの闘いについてお聞きできる貴重な機会です。

是非、多数ご参加ください。

【日 時】 2017年 **10月3日(火)** 午後 **6時**～午後 **8時**

（開場：午後5時30分）

【場 所】 **大阪弁護士会館 2階ホール 203・204**

大阪市北区西天満 1-12-5

<逐次通訳あり> <入場無料>

<お申し込み方法>

当会ホームページ「新着・イベント」→「イベント」の申込フォームからお申し込みいただくか、裏面申込書に必要事項をご記入のうえ FAX にてお送りください。

大阪弁護士会HP



こちらの QR コードからも
お申し込みいただけます →

<一時保育のお知らせ(要予約・無料)>

[対象] 原則、首がすわっている乳児～未就学児
[託児時間] 研修開始 15 分前から終了 15 分後まで
お申込を希望される方は、下記問合せ先に、**9月19日(火)**までに電話にてお問合せください。

なお、先着順に受け付け、定員に達した場合には申込を締め切らせていただく場合がございます。

[問合せ先] 大阪弁護士会委員会部人権課(杉山)
TEL:06-6364-1227

主催：大阪弁護士会

企画：大阪弁護士会人権擁護委員会、同憲法問題特別委員会

スティーブン・シャピロ弁護士



アメリカ自由人権協会 (ACLU) 法務部長 1993-2016 年
副法務部長 1987-1993 年

約 90 名の弁護士を指揮し、表現の自由、人種間の平等、信教の自由、適正手続、プライバシー、生殖と女性の権利、移民の権利、同性愛者の権利、投票権、囚人の権利、死刑などの問題を含む訴訟を取り扱ってきた。

副法務部長の間も含めて、合衆国連邦最高裁に提出された ACLU の 200 以上の書面に関与。Reno v. ACLU (1997 年の通信品位法を違憲と判断した事案) 等を含む。

1995 年から、コロンビア・ロースクールで「市民の権利とテロリズムへの反応」、「表現の自由とインターネット」を教えている。2017 年冬はスタンフォードロースクール (SLS) で、「市民の権利とテロリズムへの反応」のセミナーを持っている。

以下は SLS の説明文：

「本セミナーは、拷問、拘禁、監視、プロファイリング、異議などの 9.11 に対する米国の反応から生じた相互に関連する一連の問題をとりあげる。これらの各問題は、それぞれ法的・政治的問題を生じさせる。しかしながら、各問題はまた、国家的危機の時代においてチェック・アンド・バランスのシステムがどのように作用することができ又作用すべきか、国家安全保障の文脈における行政権に対する伝統的な憲法の制約の関連性、国際的法的規範の国内裁判所における執行といった問題を掘り下げる機会を提供してくれる。」

ハーバード・ロースクール 1975 年卒業

合衆国第二巡回区裁判所でロークラーク 1 年を経て 1976 年 NYCLU に参加
ヒューマンライツ・ファースト、ヒューマンライツ・ウォッチにも関与

参加申込書 : FAX 06-6364-7477

10/3 (火)

講演会「トランプ時代のアメリカでの人権危機に対する弁護士たちの闘い」に参加します。

貴名 (_____)

※ご記入いただいた個人情報は、講演会の参加確認の目的以外には使用いたしません。

◆お問い合わせ◆

大阪弁護士会委員会部人権課 杉山 TEL:06-6364-1227